

支保工を用いる。

材料は木材ばかりでなく、型鋼またはレール等の鋼材を使用する。現場ではただ建込むだけでよいように、あらかじめ坑外で加工しておく。

アーチ式支保工は覆工の際撤去しないで全部埋め殺し再用できないから、全延長分を用意しなければならない。また覆工の厚さ以外に支保工を埋め殺す部分だけ余分に掘さくする。

地質によっては全然支保工の必要がないところがある。この区間を無普請区間、支保工のあるところを普請区間といわれている。(松島 甫)

しほりうてん 絞リ運転 絞リ力行運転のことで、主として運転前途に速度制限等があり、全力行運転をしてゆく制限を超過するおそれがあるときに取られる運転方法で、機関車の引張力をあまり必要としないときに利用される。すなわち動力車の性能を抑えた運転である。(井上末次郎)

しほろせん 士幌線 根室本線帯広駅から北上し、十勝三股駅に至る 78.3km の線。根室線に属し線路等級は丙線で、上志幌・十勝三股間が簡易線となっている。

この線は石北線の留辺蘂に至る予定線の一部に該当し、帯広・士幌間を大正 14・12、士幌・上士幌間を大正 15・7、上士幌・清水谷間を昭和 10・11、清水谷・十勝三股間を昭和 14・11 開業した。(森 梯寿)

しまだきどう 島田軌道

1 事業者の概要

名称 島田軌道合資会社、本社 静岡県島田市本通、資本金 3 万円、従事員 7 人、保有車両貨車 20 両。

沿革 明治 30・12、島田軌道株式会社設立、昭和 8・9 合資会社に変更。

2 軌道線

島田駅前(東海道本線)・向谷間(静岡県) 3.1km、単線、動力人力、軌間 0.609m、明治 30・5・5 特許、同 31・4・12 開業、貨物運輸を目的とする。

3 運輸概況

年 度	昭和 28	29	30
貨物輸送トン数(千t)	17	14	—
貨物収入(千円)	422	300	—
運輸雑収(〃)	610	474	—
収入計(〃)	1,033	774	—
営業費(〃)	1,002	835	—
営業利益(〃)	31	△ 60	—
営業係数(%)	97	108	—

(蛭織野富次)

しまばらてつどう 島原鉄道

1 事業者の概要

名称 島原鉄道株式会社、本社 長崎県島原市、資本金 15,000 万円、おもな事業 地方鉄道・一般乗合旅客自動車運送 195km、船舶運送。鉄道従事員 486 人、保有車両 蒸気機関車 7、内燃動車 14、客車 25、貨車 72 両。

沿革 明治 41・5・5 会社設立、大正 2・9・24 諫早・島原湊間を開業、昭和 18・8・5 口之津鉄道株式会社(大正 8・4 設立、島原・加津佐間)を吸収合併し現在に至る。

2 地方鉄道線

長崎県の国鉄長崎本線諫早駅に連絡、諫早・加津佐間 78.5

km 単線、動力蒸気・ガソリン、軌間 1.067m、旅客・貨物運輸を目的とする。明治 40・5・18 諫早・島原湊間免許、同 44・6 一部営業開始、大正 7・3・25 島原湊・加津佐間免許(口之津鉄道)、大正 15・7・2 南有馬までを、昭和 3・3・1 南有馬・加津佐間をそれぞれ運輸開始。

3 観光地

雲仙・温泉小浜(島原、島原湊、口之津、加津佐駅)。

4 運輸概況

年 度	昭和 28	29	30
旅客輸送人員(千人)	4,308	4,235	4,082
人キロ(千)	59,749	59,757	58,521
貨物輸送トン数(千t)	140	135	158
トンキロ(千)	5,414	5,232	6,182
旅客収入(千円)	149,843	156,578	155,949
貨物収入(〃)	35,566	35,315	38,265
運輸雑収(〃)	1,988	2,552	2,197
収入合計(〃)	187,396	194,446	196,411
営業費(〃)	175,519	188,529	198,470
営業利益(〃)	11,878	5,917	△ 2,058
営業係数(%)	94	97	97

注 30 年度営業係数は諸税を含まない。(原 功)

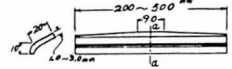
しみずこうせん 清水港線 東海道本線清水駅から清水湾にそって、三保松原に近い三保駅に至る 8.3km の線。東海道線に属し線路等級は乙線である。

大正 5・7 清水港の臨港貨物線として清水(江尻)・清水港間が建設され、その後清水埠頭、三保と逐次建設され、昭和 19・7 全線開通し、東海道本線の貨物枝線としてとくに線名を付していなかったが、昭和 19・12 旅客営業開始を機会に現在の線名を呼ぶこととした。

この線は貨物輸送を主たる目的とする線で、清水港の拡張と沿線工業地帯の発展に伴ないその重要性が増大しつつある。

(森 梯寿)

シム (英) shim レールのあご下摩耗や、継目板のレール接触部分の摩耗のためにできる継目シム
落・ガタなどを整正するために、
レールと継目板の間のすきまにさし込む鉄鉄。そのすきまの大小によって厚さを加減する。(沢田謙二)



じむがかり 事務掛 技術系統の現業機関または第 2・3 種鉄道病院、鉄道管理局職員養成所等におかれる職で、事務一般(人事・文書・厚生・労働・金銭物品の出納事務等)に従事するものである。(加藤誠次郎)

しめこうぎょうしょのちんぎん 志免鉱業所の賃金

1 国鉄の経営する志免鉱業所の職員の賃金を国鉄職員なみとすべきか、民間炭鉱労働者なみとすべきかは問題があった。昭和 28 年の賃金改訂に関する公共企業体等仲裁委員会の裁定は、民間炭鉱労働者の賃金に近づけることをあきらかにしてい